

◆授業のポイント◆

- ・ 基礎的・基本的な知識，概念や技能の確実な習得を図る学習活動の工夫
- ・ 言語活動の充実を図る学習活動の工夫

社会科学習指導案（地理的分野）

学 級 1年5組（男子17名 女子20名 計37名）
場 所 1年進路室（1年校舎 4階）
授業者 教 諭 川 野 博 志

- 1 単元 世界各地の人々の生活と環境（全11時間）
- 2 題材 「世界各地の人々の生活と環境」の単元導入（世界の気候帯）
- 3 本時の実際（1/11）

(1) 目標

- ① 次時から学習する世界各地の人々の生活を，気候や地形等の自然条件，宗教や文化等の社会的条件からとらえることができるように，世界各地の写真や気温と降水量のグラフをもとに世界の気候帯の特色を説明できる。
- ② 次時からの学習内容や学習の視点を把握できる。

(2) 展開

過程	主 な 学 習 活 動	時間 形態	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイントについて
導 入	1 世界各地の写真を見て，気づいたことを発表する。	3分 一斉	1・衣服や土地のようすに着目させ，気候の違いに気づかせる。 2・本単元の学習内容を概観させ，本時の学習課題を設定する。 ・学習課題に対する予想を発表させる。
	2 本時の学習課題を確認する。 世界各地の人々の生活に影響を与える世界の気候にはどんなものがあるか？	2分 一斉	
展 開	3 世界各地の写真や気温と降水量のグラフをもとに，世界の気候帯の特色を調べ，発表する。 □グラフの縦軸：気温（℃）と降水量（mm） □グラフの横軸：1月～12月 □温帯：四季 □熱帯：高温多雨 □冷帯：冬寒さが厳しい □乾燥帯：少雨 □寒帯：一年中寒い	19分 個 一斉	3・世界各地の写真から樹木のあるなしに着目させ，降水量の多小や気温の高低が気候を分かれさせていることに気づかせる。 ・気温と降水量のグラフの縦軸，横軸の意味を理解させ，そのグラフを読み取らせ，世界の気候帯の特色を確認させる。（※基礎的・基本的な知識，概念や技能の確実な習得を図る学習活動の工夫） ・気温のグラフが，南半球は北半球と逆になっている理由を考えさせる。 ◎ 世界の気候帯の特色を説明できたか。 4・赤道を軸に北半球，南半球に熱帯→温帯→冷帯（南半球は，なし）→寒帯と分布していることに気付かせる。 5・学習活動3の理解を深めさせる。 ・世界各地の写真の地域の気候帯を考えさせる。 ・その写真の人々の衣服や植生，そのグラフの特徴から根拠を明確にさせ，発表させる。 （※言語活動の充実を図る学習活動の工夫） ◎ 根拠を明確にして発表できたか。
	4 世界の気候帯の地図をもとに，各気候帯の分布を確認する。 □世界の気候帯の世界地図	5分 一斉	
	5 世界各地の写真，気温と降水量のグラフとそれぞれの気候帯を結びつけ，その根拠を発表する。	14分 ペア 班 一斉	
終 末	6 本時の学習課題に対するまとめをする。	3分 一斉	6・板書をもとに簡潔にまとめさせる。 7・世界各地の人々の生活は，気候にだけ影響されているのではなく，地形などの自然条件や宗教，文化などの社会的条件にも影響されていること，また，自然条件を克服しながら生活を高めていることも説明する。 ◎ 次時からの学習内容や学習の視点を把握できたか。
	7 次時以降の学習内容や学習の視点についての説明を聞く。 □学習計画表 □視点：人々の生活を，気候や地形，宗教や文化等との関連でとらえること	4分 一斉	